

2015年7月8日

各 位



プレスリリース
「守り」から「攻め」へのコーポレートガバナンスの変革
～外部視点を活用した企業価値の向上に向けて～

公益財団法人 日本生産性本部

公益財団法人 日本生産性本部は、2013年10月に設立した「人と経営フォーラム」に於いて、コーポレートガバナンスに焦点を当て、その制度論に留まらず、企業価値向上のために外部視点、特に社外取締役の活用を通じて、攻めのガバナンスを実現するために必要なことは何かをテーマに議論を進めてきた。そして今回、議論した内容をもとに提言を取りまとめた。概要は以下の通り。

1. 企業価値とは何か、企業価値の向上にとって社外取締役がなぜ必要なのかを再確認すべきである。
企業価値は、ROE など高い収益性だけでなく、経済性と社会性との間の「共通価値の創造」を追求すべきである。
2. 社外取締役の積極的な関わりを促す仕組みや環境を整備すべきである。
①社外取締役に対する十分な情報提供と研修、②社長・会長と社外取締役からなる諮問委員会の設置・活用、③社外取締役だけから構成される会議体の設置、④筆頭社外取締役の選任、⑤社外取締役との接点となる社内人材の活用、⑥社外取締役の意見を受け入れる社内取締役の意識の醸成などを整備すべきである。
3. 社外取締役に何を期待すべきか明確にすべきである。
①事業展開はステークホルダーの利益になるか（収益性）、②企業倫理が十分に尊重されているか、③意思決定の手続きに瑕疵はないか、④計画立案時の前提条件に見落としがないか、⑤経営陣の資質・能力は適正かなどを明確にすべきである。
4. 社外取締役の選任基準や方法は、社外取締役への期待に応じて決定すべきである。
5. 社外取締役の導入の成否は、導入する企業におけるトップ 経営者の意識や資質にかかっている。

▶代表

小島 順彦（日本生産性本部 副会長/三菱商事株式会社 会長）

▶メンバー

川村 隆（日本生産性本部 評議員/株式会社日立製作所 相談役）

石塚 邦雄（日本生産性本部 評議員/株式会社三越伊勢丹ホールディングス 会長）

小野寺 正（日本生産性本部 理事/KDDI 株式会社 会長）

米山 茂美（学習院大学 教授）

松川 昌義（日本生産性本部 理事長）

大川 幸弘（日本生産性本部 理事）

◆添付書類：

提言書（23枚）

【本件に関するお問い合わせ先】
公益財団法人 日本生産性本部 経営開発部 担当：桶川、古田
TEL：03-3409-1119 FAX：03-5485-7750

日本生産性本部 提言活動

検索